

平成27年度事業報告

1. 総会及び理事会等会議の開催

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
監 事 会	27. 4. 22	ハム・ソーセージ 会 館	監事 5名	平成26年度収支決算等に関する事項
理 事 会	27. 4. 22	ハム・ソーセージ 会 館	理事 15名 監事 5名	平成26年度決算について 平成27年度予算について 総会提出議案について 会計規程の改正について 役員給与規程の改正について
理 事 会	27. 5. 27	東京都千代田区 「銀行倶楽部」	理事 16名 監事 5名	委員会委員の委嘱について 役員給与規程の改正について
第12回定時 社員総会	同 上	同 上	71名 (委任状によ る出席43名を 含む)	①平成26年度事業報告承認の件 ②平成26年度決算報告書承認の件 ③定款変更の件 ④平成27年度事業計画決定の件 ⑤平成27年度収支予算決定の件 ⑥入社基準決定の件 ⑦平成27年度会費及び徴収方法決定の 件 ⑧平成27年度加入金決定の件 ⑨平成27年度借入金最高限度決定の 件 ⑩常勤理事報酬最高限度決定の件 ⑪理事3名及び監事1名退任に伴う理 事3名及び監事1名補選の件 ⑫常勤理事に対する退職手当の件
理 事 会	27. 8. 26	ハム・ソーセージ 会 館	理事 14名 監事 5名	経理状況報告について
理 事 会	27. 10. 28	ハム・ソーセージ 会 館	理事 14名 監事 4名	特定個人情報の適正な取扱いに関す る基本方針について 特定個人情報取扱規程(案)について
理 事 会	28. 1. 27	東京都千代田区	理事 16名	社員の入社について

種 別	期 日	会 場	出席者数	決 議 事 項 等
		「銀行倶楽部」	監事 5名	
理 事 会	28. 3. 30	ハム・ソーセージ 会 館	理事 14名 監事 5名	平成28年度事業計画及び収支予算 (案) 給与規程の改正について
J A S 認定業 務評価委員会	28. 3. 14	ハム・ソーセージ 会 館 他	委員 3名	本研究所の審査、認定及び意思決定プ ロセスの公平性について 公平性のリスク分析の結果に対する評価
登録検査機関 検査業務評価 委員会	同 上	同 上	委員 3名	厚生労働省登録検査機関に係る業務 の信頼性確保について

## 2. 事業に関する事項

- (1)平成27年4月15日～17日の3日間、東京ビッグサイト東4ホールで開催された「2015食肉産業展」に(一社)日本食肉加工協会、日本ハム・ソーセージ工業協同組合と共同で出展し、J A S 規格制度及びJ A S マークの紹介、当研究所の検査業務の紹介を行った。
- (2)平成27年5月18日、19日(独法)農林水産消費安全技術センター(FAMIC)によるJAS法に基づく事業所調査及び製品検査施設調査を受けた。その結果、軽微な指摘を受け直ちに改善した。
- (3)平成27年5月27日、東京都千代田区「銀行倶楽部」において開催の第12回定時社員総会で、現定款の内容を一般社団法人及び一般財団法人に関する法律(平成18年6月2日法律第48号)の規定に適合させるために、定款変更を諮り承認された。
- (4)平成27年5月27日、東京都千代田区「銀行倶楽部」において開催の第12回定時社員総会で、理事3名及び監事1名退任に伴う理事3名及び監事1名補選が行われた結果、菊地 令氏、末澤壽一氏及び南波利昭氏が理事に、宮島成郎氏が監事に選出された。
- (5)平成27年7月6日、役員の変更登記を完了した。
- (6)平成27年7月10日、登録検査機関の登録要件である役員に占める受検営業者の割合が二分の一を超え違法状態であることが判明した。飯沼英郎理事のご判断で理事辞任届が提出され、7月22日に厚生労働省関東信越厚生局に変更届を提出し、受理された。
- (7)厚生労働省登録検査機関として厚生労働省関東信越厚生局より平成27年8月25日に定期監査、平成27年10月21日に亜硝酸の試験成績書の不適切な取扱いについて臨時監査を受けた。いずれも指摘事項を改善し報告が受理された。
- (8)平成27年11月30日、ISO審査登録機関であるペリジョンソフ ラボラトリー アクティベーション インク(PJLA)より、国際規格であるISO/IEC17025:2005のサーバランス審査を受けた。

(9)平成28年1月20日から社員及びJAS認定工場の、主に品質管理または品質保証に携わる方々を対象に、食品、食品衛生、食品表示等に関する行政情報等を、適宜E. mailでご案内することとした。

(10)平成28年3月9日～3月11日まで東京都中央卸売市場食肉市場を主会場に開催された「第8回全日本大学対抗ミートジャッジング競技会」に協賛、協力した。

(11)平成28年3月30日、東京都武蔵野市「日本獣医生命科学大学 第一校舎」において開催された第57回日本食肉研究会総会及び大会に協賛、協力した。

### 3. 社員に関する事項（平成28年3月31日現在）

期 別	社 員 種 類					
	正社員	正社員甲	正社員乙	正社員丙	賛助社員	総 計
前期末現在	75	2	0	0	3	80
今期入社	6	0	0	0	0	6
今期退社	0	0	0	0	0	0
今期末現在	81	2	0	0	3	86

(注) 正社員：(一社)日本食肉加工協会及びその会員  
 正社員甲：食肉製品製造を事業とする者  
 正社員乙：食肉製品製造を事業の一部として経営する者  
 正社員丙：食肉加工を事業とする者  
 賛助社員：食肉加工あるいは食肉製品製造の業に関連する事業を行なう者

### 4. 事業の概要

#### (1) J A Sに関する業務

##### ア) 平成27年度における J A S 格付状況

区 分	格付数量	対前年度比
ベーコン、ハム、プレスハム、ソーセージ類	117,254 トン	1.4%増
熟成ハム、熟成ソーセージ、熟成ベーコン類	24,792 トン	1.7%増
ハンバーガーパティ	21,891 トン	9.4%減
チルドハンバーグステーキ	1,674 トン	2.4%増
チルドミートボール	0 トン	—

##### イ) J A S 認定工場数（平成28年3月31日現在）

農林物資 期 別	ベーコン類等	熟成ハム類等	ハンバーガー パティ	チルドハンバーグ ステーキ	チルドミート ボール	合 計
平成26年度末	96	64	3	4	0	167
認 定	0	0	0	0	0	0
辞 退	2	2	0	0	0	4

平成27年度末	94	62	3	4	0	163
---------	----	----	---	---	---	-----

ウ) J A S 認定工場は平成27年度定期確認調査において、すべて適正であった。また、臨時確認調査を1件実施しJAS認定工場としての適正性を確認した。

エ) J A S 証票表示包装等登録印刷工場はベーコン類等113工場、熟成ハム類等73工場、ハンバーガーパティ、チルドハンバーグステーキ及びチルドミートボール28工場、生産情報公表 J A S 1 工場となった。

オ) 品質管理担当者等講習会の開催

区 分	期 日	会 場	受講者数
品質管理担当者講習会	27.9.4	石山記念ホール(東京都渋谷区)	71名
	27.9.6	新大阪丸ビル(大阪市)	44名
品質管理責任者等専門講習会	28.2.18~19	フクラア品川(東京都品川区)	67名
格付検査担当者技能研修会	28.2.20	ハム・ソーセージ会館	18名

なお、(一社)日本農林規格協会主催の J A S 認定工場品質管理担当者一般講習会は3回開催された。

カ) 平成16年8月11日付で制定された「製造業者等の認定の技術的基準改正に係るガイドライン」を現状に即したものに改正する、JAS証票による表示間違いを防止するため肉塊製品と挽肉製品で分けている様式を統一する、以上の事項を平成27年11月1日から適用させるため、J A S 登録認定機関業務規程を変更した。

(2) 一般依頼試験等に関する業務

ア) 平成27年度に実施した一般依頼試験、輸入食品検査の件数は下記の通りである。

区 分	一般依頼試験			輸入食品検査	合 計
	理化学検査	細菌学検査	その他検査		
件 数	7,045件	8,286件	593件	6,685件	22,609件

イ) 各検査項目の精確かつ効率的な検査方法の開発に努めるとともに、内部精度管理、内部点検を実施し信頼性確保に努めた。また、外部精度管理調査については、国内外の機関が行う調査に引続き参加し、検査精度の向上に努めた。

(3) 平成27年度における研究成果

ア) 学会発表

学会名	表題
第120回日本畜産学会大会	食肉製品製造過程で生じたドリップの有効利用に関する研究
第121回日本畜産学会大会	ヌクレオシド-5'-リン酸 (NMP) を利用した食肉製品創製の可能性(シンポジウム講演)

イ) 学術論文

掲載雑誌名	表題
Animal Science Journal(2016)	Hypoxanthine enhances the cured meat taste
Animal Science Journal(2016)	Inosine-5'-monophosphate is a candidate agent to resolve rigor mortis of skeletal muscle

(4) (一社)日本食肉加工協会主催の「初級食肉加工技術講習会」及び「総合衛生管理製造過程に係る講習会」に技術協力した。

附属明細書

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成28年5月

一般社団法人 食肉科学技術研究所

## 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第33条に規定する決算報告に関する附属明細書については以下のとおりである。

### 1. 固定資産の明細

固定資産の取得金額、減価償却累計額等及び当期末残高は、次のとおりである。

資産の種類	取得金額	減価償却累計額等	当期末残高
建物付属設備	7,386,173円	5,119,983円	2,266,190円
機械装置	499,300円	449,359円	49,941円
車輛運搬具	2,987,449円	2,987,447円	2円
器具備品	91,038,419円	84,845,948円	6,192,471円
繰延資産	16,393,064円	7,563,439円	8,829,625円
計	118,304,405円	100,966,176円	17,338,229円

### 2. 引当金の明細

引当金の期首残高、当期増加額、当期減少額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
退職給付引当金	83,639,441円	8,574,743円	13,993,894円	78,220,290円

平成28年5月

一般社団法人 食肉科学技術研究所

## 監 査 意 見 書

### 1. 監査の方法

理事会に出席し理事から事業の遂行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、財産の状況については会計に関する帳簿、書類を閲覧し、その他相当な方法を用いて調査した。

### 2. 監査結果の意見

- (1) 事業報告書、事業報告書の附属明細書、財産目録、貸借対照表、損益計算書、貸借対照表及び損益計算書の附属明細書は法令及び定款に従い、業務、財産及び損益の状況を正しく表示しているものと認める。
- (2) 損失処理に関する議案は、法令及び定款に適合しているものと認める。
- (3) 理事の職務の執行に関しては、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

平成28年4月27日

一般社団法人 食肉科学技術研究所

代表 監 事	帯 谷 伸 一
監 事	小 田 木 毅
監 事	長 濱 徳 勝
監 事	増 井 隆 夫
監 事	宮 島 成 郎

